

工事名称	〇〇区新築工事	
起請主	住所	〇〇市〇〇町〇-〇-〇
	氏名	住宅 太郎
敷地概要	地名和番	〇〇市〇〇町△-△
	住居表示	〇〇市〇〇町〇-〇-〇
	敷地面積	165.00㎡
	都市計画区域	市街化区域
	用途地域	第Ⅱ種低層住居専用地域
	防火地域	指定なし(※22条区域)
	指定建築率	50%
	指定容積率	100%
	高さ制限	10m
	高度地区	—
建築概要	日照規制	4時間、2.5°時間、1.5m
	道路	前面道路幅員6,000m、延長長さ11,000m
	土砂災害特別警戒区域	前面
	建物用途	一戸建ての住宅
	工事の種類	新築工事
	構造	木造
	階数	2階建て
	お奨め	BM+0.336m
	最高高さ	8.114m
	軒高	6.404m
	建築面積	71.21㎡
	床面積	
	1階床面積	69.22㎡
	2階床面積	52.99㎡
延床面積		122.21㎡

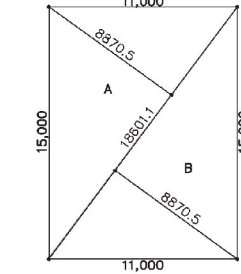
階	室名	床			山木			壁			回廊			天井			備考
		仕上 下地	記号 記号	厚 厚	仕上	H	厚	仕上 下地	記号 記号	厚 厚	仕上 下地	記号 記号	厚 厚	仕上 下地	記号 記号	厚 厚	
1 階	玄関	旭硝子強化ガラス(150角)	F1	9	磁器タイル(150角)	150	9	ビニールクロス貼	W1		木製回縁	ビニールクロス貼	C1		手すり下地		
	ホール・廊下	フローリング	F1	15	木製巾木	60	15	せっとうボード	W5	12.5	木製回縁	せっとうボード	C4	9.5			
		構造用合板	F6	24				ビニールクロス貼	W1			ビニールクロス貼	C1				
	物入	合板1種	F5	15	雑巾指			せっとうボード	W5	12.5	木製回縁	せっとうボード	C4	9.5			
		構造用合板	F6	24				合板1種	W4	9.5		合板1種	C3	9.5			
	納戸	フローリング	F1	15	木製巾木	60	15	ビニールクロス貼	W1		木製回縁	ビニールクロス貼	C1		点検口(天井)		
	和室 (待客室)	木畳敷	F2	30	骨董			せっとうボード	W5	12.5	木製回縁	せっとうボード	C4	9.5	ブラインド		
		構造用合板	F6	9				化粧タイル	W2	8		化粧タイル	C2	9.5	障子		
	押入	合板1種	F5	15	雑巾指			ラッシュボード	W6	7.5		化粧タイル	C2	9.5	障子		
		構造用合板	F6	24				合板1種	W4	12.5	木製回縁	合板1種	C3	9.5	床：カラマツ線床板(7)15		
台所	フローリング	F1	15	木製巾木	60	15	ビニールクロス貼	W1		木製回縁	ビニールクロス貼	C1		レンジフード、棚除口(トラップ)			
2 階	居間・食事室	構造用合板	F6	24				せっとうボード	W5	12.5	木製回縁	ビニールクロス貼	C4	9.5	ビニールクロス貼(準不燃材料)		
		フローリング	F1	15	木製巾木	60	15	ビニールクロス貼	W1		木製回縁	ビニールクロス貼	C1		カーテン		
	洗面・脱衣室	構造用合板	F6	24				せっとうボード	W5	12.5	木製回縁	ビニールクロス貼	C4	9.5	カーテン		
		強化ビニール製タイル	F3	2.3	ビニール製巾木	60	15	ビニールクロス貼	W1		木製回縁	ビニールクロス貼	C1		換気扇、棚除口(トラップ)		
	便所	構造用合板	F6	24				せっとうボード	W5	12.5	木製回縁	ビニールクロス貼	C4	9.5	換気扇、棚除口(トラップ)		
		強化ビニール製タイル	F3	2.3	ビニール製巾木	60	15	ビニールクロス貼	W1		木製回縁	ビニールクロス貼	C1		点検口(床)・ブラインド、手すり下地		
	浴室	構造用合板	F6	24				せっとうボード	W5	12.5	木製回縁	ビニールクロス貼	C4	9.5	手すり、換気扇		
		強化ビニール製タイル	F3	2.3	ビニール製巾木	60	15	ビニールクロス貼	W1		木製回縁	ビニールクロス貼	C1		ユニットバス1618(バリアフリー仕様)		
	2 階	階段	集成材段板	F4	30				ビニールクロス貼	W1		木製回縁	ビニールクロス貼	C1		手すり、換気扇、棚除口(トラップ)	
		廊下	フローリング	F1	15	木製巾木	60	15	せっとうボード	W5	12.5	木製回縁	せっとうボード	C4	9.5	手すり	
構造用合板			F6	24				ビニールクロス貼	W1		木製回縁	ビニールクロス貼	C1				
物入		合板1種	F5	15	雑巾指			せっとうボード	W5	12.5	木製回縁	せっとうボード	C4	9.5			
		構造用合板	F6	24				合板1種	W4	9.5	木製回縁	合板1種	C3	9.5			
浴室1.2		フローリング	F1	15	木製巾木	60	15	ビニールクロス貼	W1		木製回縁	ビニールクロス貼	C1		カーテン		
		構造用合板	F6	24				せっとうボード	W5	12.5	木製回縁	せっとうボード	C4	9.5			
主寝室		フローリング	F1	15	木製巾木	60	15	ビニールクロス貼	W1		木製回縁	ビニールクロス貼	C1		カーテン		
		構造用合板	F6	24				せっとうボード	W5	12.5	木製回縁	せっとうボード	C4	9.5			
便所		強化ビニール製タイル	F3	2.3	木製巾木	60	15	ビニールクロス貼	W1		木製回縁	ビニールクロス貼	C1		換気扇、棚除口		
	構造用合板	F6	24				せっとうボード	W5	12.5	木製回縁	せっとうボード	C4	9.5	手すり			

部 位	下地・仕上	備考
基礎	鉄筋コンクリート造ベタ基礎	
床下換気口	ねこ一社 (有効口径200cm ² /㎡、高さ20mm)	防虫網
外壁	窯業系サイディングボード18mm(通気清法)	防火時間30分 (認定番号: PC030RE-○○○○)
軒裏	繊維強化ガラス板厚11mm	防火時間30分 (認定番号: QF030RS-○○○○)
外部開口部	アルミ製ドア、アルミ製サッシ 施屋ガラスA12(納入厚6.8φ)	防火時間20分 (認定番号: EB-○○○○、△△△△、□□□□、●●●●)
屋根	野地板: 構造用合板 特製 厚12mm 改質アスファルトルーフィング 粘土瓦	防火気密

住宅の名称	〇〇様邸（東京都〇〇市〇〇区〇〇-〇-〇）		
仕様が変動ある場合、必要最小限の仕様のもの、又は仕様の範囲を以下に記載	小項目	仕 様	備考
基礎材料 （法第37条）	基礎コンクリート	JIS	設計基準強度 f_{cd} :24N/mm以上 スランパ:18cm以下
	基礎鉄筋	JIS	SD295
	居室の天井の高さ及び防湿方法（令第22条）	床の高さ 防湿方法	640(畳下の地面(BM+400)から) ねこ土台(有効換気面積75cm ² /m)
	構造部材の耐久 （令第37条）	構造耐力上主要な部分	腐食、腐蝕、摩損のおそれのあるものに腐食等防止の措置
	基礎 （令第38条）	支持地盤の種類及び位置	砂質地盤(GL<0.5m)
		基礎の種類	べた基礎
		基礎の底部の位置	地盤面からの深さ:GL-100、掘入れ:GL-300
		基礎の底部に作用する荷重の数値・算出方法	地盤の許容応力度 30kN/m ²
令第38条第2項 （構造部材等）	地盤調査 （令第38条）	木べい及び築水面の位置	対象外(木べい無し)
		鉄筋	主筋:D13、立上り・底盤・開口部補強筋:D10
		地盤調査	SWS試験
		地盤改良	該当なし
	屋根ふき材等 （令第39条）	屋根ふき材の固定方法	釘・全釘固定、横割・ねじ固定、絆・けうば・むじ3本固定
		屋外に露する部分のタイル等の繋結方法	該当なし
		太陽光システム等を設置した際の防錆処理	該当なし
	木材（令第41条）	木材の規格(JAS)または等級	横桟材、柱材、梁かひ等、その他:無節無斜 断力上の欠点のないこと
	土台及び基礎 （令第42条）	柱脚の固定方法 土台の固定方法	土台120×120(ヒ・テ、横等幅材)を設ける アンカーボルト(M12)＋金金(厚)4.5×40角×144柱により緊締、柱から200以内に設置(設置間隔: 2700以内)
	境界接合距離		1階 小径120、境素材相互間の垂直距離の最大:2844 柱の小径と境素材間の寸法寸法の比率:1/23.7 2階 小径120、境素材相互間の垂直距離の最大:2730 柱の小径と境素材間の寸法寸法の比率:1/22.8
令第38条第3項 （木構造）	柱の小径 （令第43条）	柱間の欠き取り(1/3以上の有無) 2階建てのすみ接 有効縁長比(最大値)	1/3以上欠き取る場合は適切に補強 通し柱、又は同等等の補強(補強計算による) 1階 断面長さ:2844、断面巾の二次率半徑:34.64 柱の有効縁長比=82.1<150 2階 断面長さ:2730、断面巾の二次率半徑:34.64 柱の有効縁長比=78.9<150
	はり等の横桟材 （令第44条）	中央部付近の下側に耐力上支障のある欠き込み	欠込み・無し
	筋かい （令第45条）	筋かいの断面 筋かいの欠き込み	45×90 原状欠き込み無し (必要の場合)なすぎ部補修:両端から短冊金物(S)当て六角ボルト(M12)締め、スクルーくさ(ZS50)
	構造耐力上必要な軸組 （令第46条）	第1項 床組・小壁及び火打、構造用合板等、押入れあり	第1項 主要な壁にスギ(120×120～240) 床組:構造用合板(厚)24 小壁及び火打ちばり(木製)、張れ止め:設置 火打ち干:スギ(45×90)ユニットバス、サウナ床等を除く
		第4項 壁量基準(耐震・耐火)	筋かい(45×90シングル、ダウル)、配置は壁量平均図による、車庫等は外壁開窓の大壁部分
	筋かい・窓部	窓部方法:筋かいプレート(RP2等)	
	耐力壁間隔表示・柱脚	N値計測による	Zマーク表示金物又は同等認定品
	その他の柱間・柱脚	カド金物(C-P-L)等	Zマーク表示金物又は同等認定品
	樹手・仕口 （令第47条）	小径間の接合方法	耐風圧性向上のための接合部仕様 たるき・折衝接合:びねり金物ST-15 たるき・もや接合:びねくさ-N75 Z本鋭め打ち 小壁兼・小壁バリー・小壁兼:ちや接合:かすがにて12箇所打ち
	防振装置等（令第49条）	鉄骨モルタル下地等の防水措置	該当なし
令第39条第4項の2 （循環コンクリートブロック工法）	構造方法	橋渡し能力上主要な部分の柱、梁かひ、土台	地面から1mの範囲で防腐・防蟻処置
	材料の種類	控え壁なし	
	窓の長さ	建築用コンクリートブロックA種	縦の長さ＝1200
	補注語	T50	
	補注語	窓内部 縦断:80cm横断:D10配筋 横断:縦断・基礎埋込部、縦断・基礎部、縦断部 D10	
	補注語	縦断埋込部	縦断埋込部に折り曲がり、交差する状態にできず掛け
防火構造 延焼のおそれのある部分	仕上	粘土瓦(熱伝導)	瓦・不燃材料
	断熱 （法第22条）	野地板	構造用乾式断熱材(厚)12 板厚<N38 150にラッチで確実に固定
	防水紙	改質アスファルトルーフィング940(22kg)	
	外装（法第23条）	仕上	遮熱系サイディング(厚)18 遮熱構造
居室の内装	軒裏（令第108条）	仕上	縦断埋込入ケイ酸カルシウム板(厚)11.5 E.P.F
	内装材（令第20条(ロ)7）	内装材(軽合フローリング、集成材、ビニルクロス、化粧下・コバーク、ふすま板、内装・収納棚・洗濯機台、キッチンセット、接着剤)	全てF☆☆☆☆
居室の換気	換気設備 （令第20条(ホ)8）	機械換気設備の構造	第3項機械換気設備 80㎡(ヒ ×2基(1、2階別所に設置)、各居室に給気口設置 所有はランダムフードによる(換気量〇〇m ³ /h)
	天井等(含板、構造用合板、収納内蔵、右側ボード)	天井等(含板、構造用合板、収納内蔵、右側ボード)	全てF☆☆☆☆
	建築設備の構造強度 （令第129条の2(2)3）	昇降機以外の建築設備の構造方法	建築物に設ける昇降機以外の建築設備の安全性能に関する平12第3号および同左第5改正(平24第4次令第147号)の規定方法に従い設置
給排水衛生設備	給水・給湯管材料	引込:ステンレス鋼 敷内:断熱準硬質塩化ビニル管 住戸内:樹脂ポリエチレン管	
	給水、排水その他の配管設備 （令第129条の2(4)）	排水管材料	排水材:コンクリート管例、硬質塩化ビニル製例 排水管:換気用化ビニル製型管者 雨水排設備:防鼠テープにて高圧排水水口数:1/100以上 管径は、上下水道局の基準による
	水栓	止水口空間を有効に確保できる	
		-	
特定行政行為条例、規程で定める規定	法第40条	-	
	法第41条	-	

[illegible]

敷地面積求積図 S=1/300



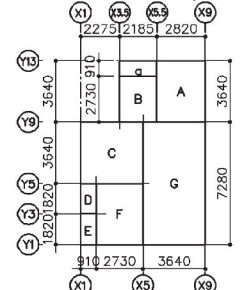
敷地面積表

符号	底辺	高さ	倍面積
A	18.6011	8.8705	165.0010
B	18.6011	8.8705	165.0010
倍面積合計			330.0021
合計面積			165.0010
地積			165.00 m2

配置図 S=1/100



1階床面積及び建築面積求積図 S=1/300



床面積表

	縦	横	面積
α	0.91	2.185	1.98835
A	3.64	2.82	10.2648
B	2.73	2.185	5.96505
C	3.64	3.64	13.2496
D	1.82	0.91	1.6562
E	1.82	0.91	1.6562
F	3.64	2.73	9.9372
G	7.28	3.64	26.4992
H	3.64	3.64	13.2496
I	3.64	3.64	13.2496
J	4.55	3.64	16.562
K	2.73	3.64	9.9372

各位置高さ

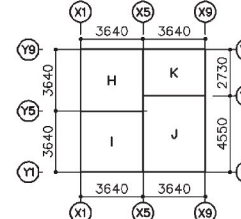
	道路中心線からの高さ	地盤面からの高さ
樋先 i	3.610 m	3.324 m
樋先 ii	6.472 m	6.186 m
寄棟頂部	8.400 m	8.114 m

斜線検討

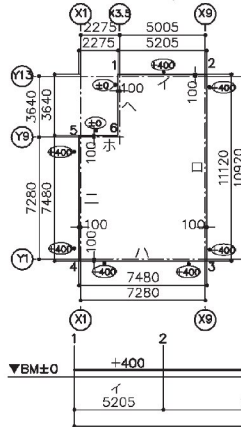
斜線検討 I
道路斜線距離 = 7.465
道路斜線の高さ = 7.465 × 1.25 = 9.331
軒先 i 高さ = 3.610 ∴ OK

斜線検討 II
北側斜線距離 = 2.007
北側斜線の高さ = 5.000 + 2.007 × 1.25 = 7.508
軒先 ii 高さ = 6.186 ∴ OK

2階床面積求積図 S=1/300



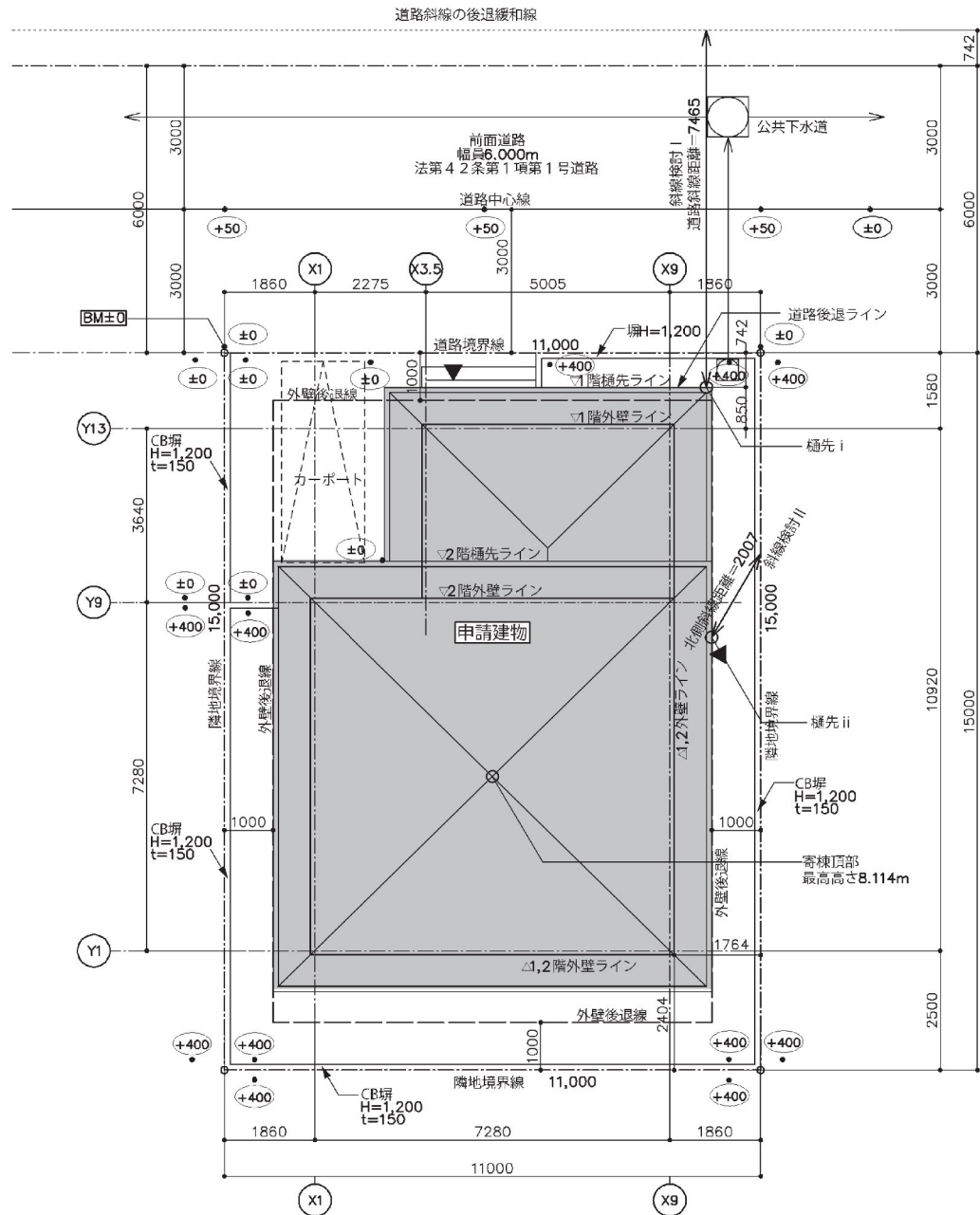
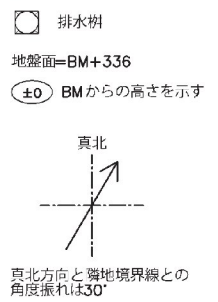
地盤面算定表 S=1/300

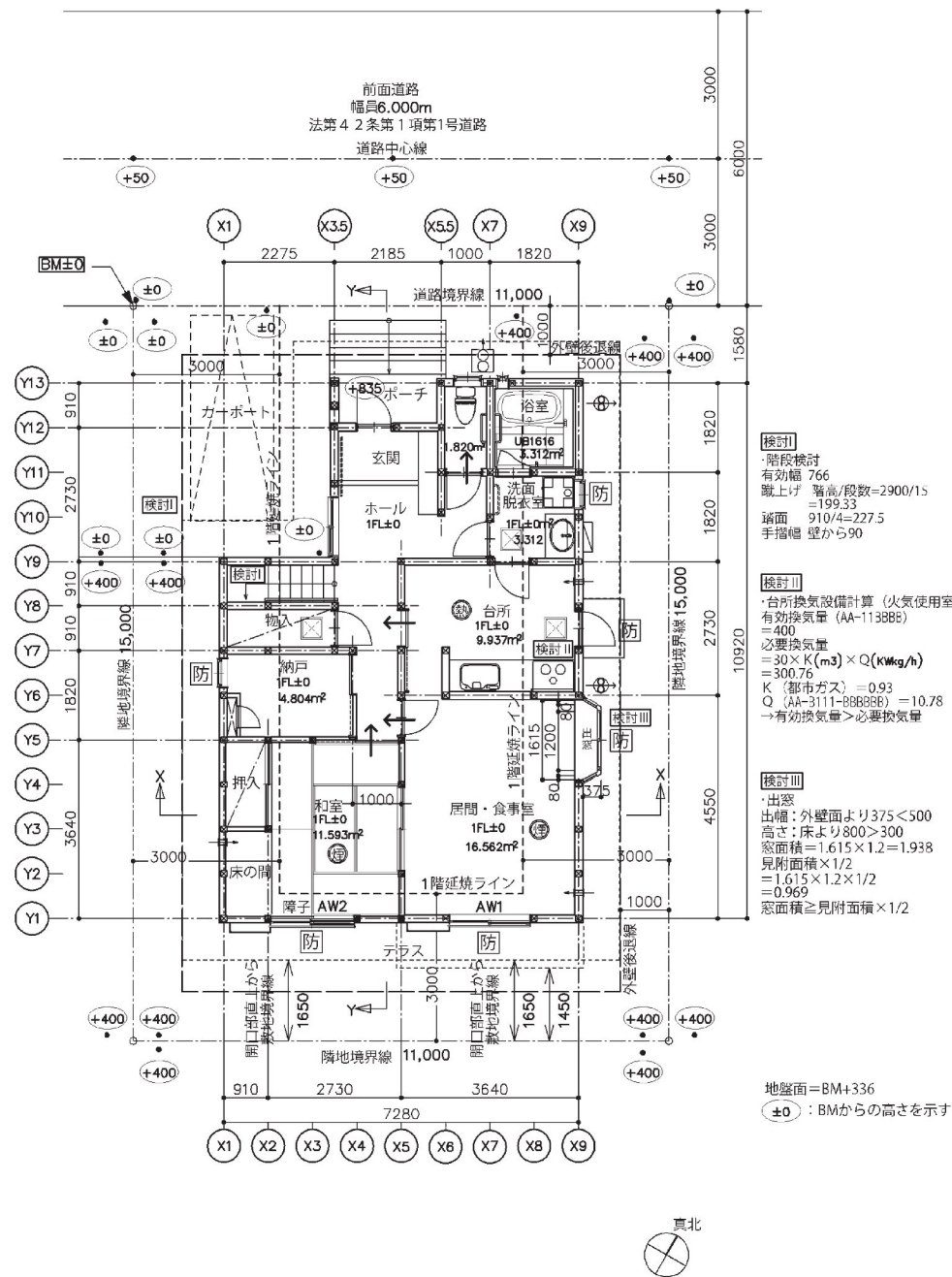


地盤面算定表

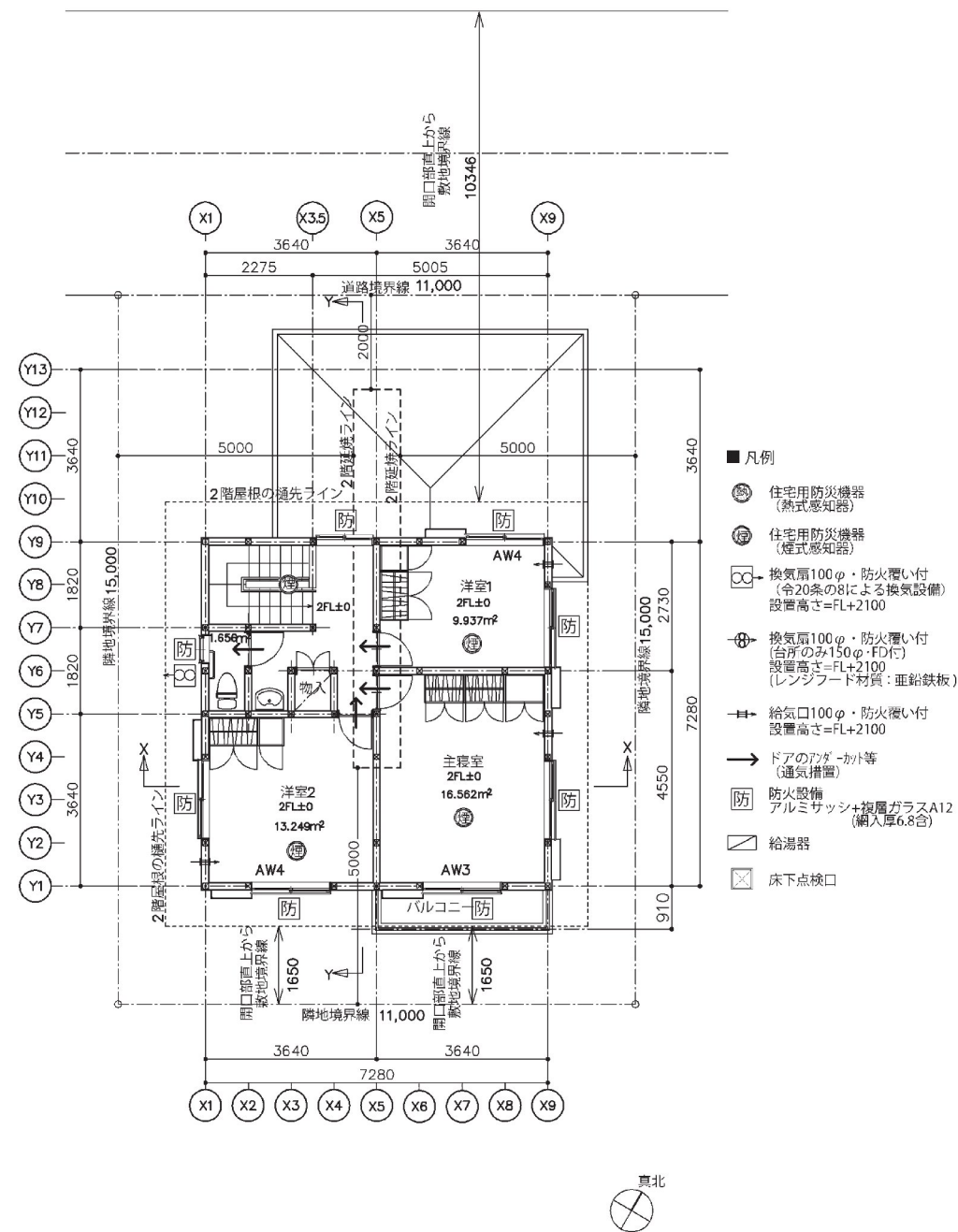
	長さ m	高さ m	面積 m2
イ	5.205	0.4	2.082
ロ	11.12	0.4	4.448
ハ	7.48	0.4	2.992
ニ	7.48	0.4	2.992
ホ	2.275	0	0
ヘ	3.64	0	0
合計	37.20		12.514
地盤面	= 12.51m2/37.20m		= 0.33639m
			= BM+336mm

凡例

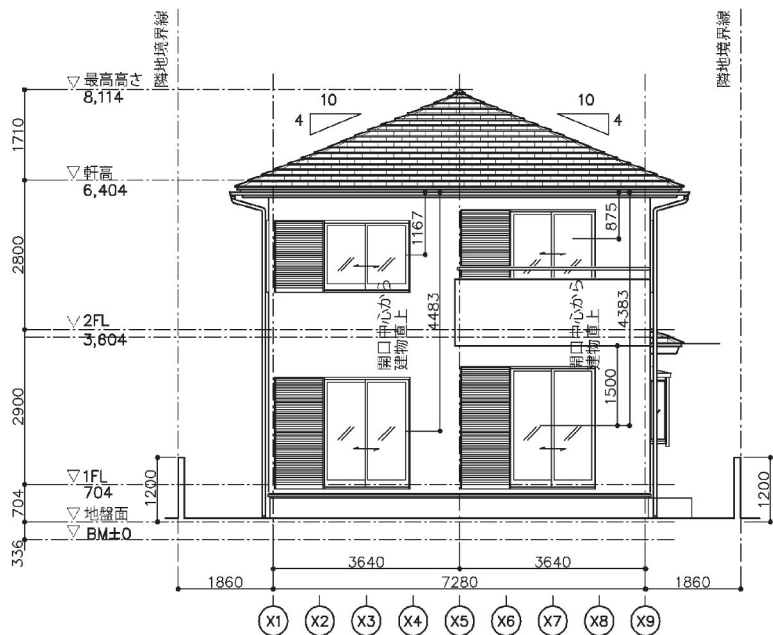




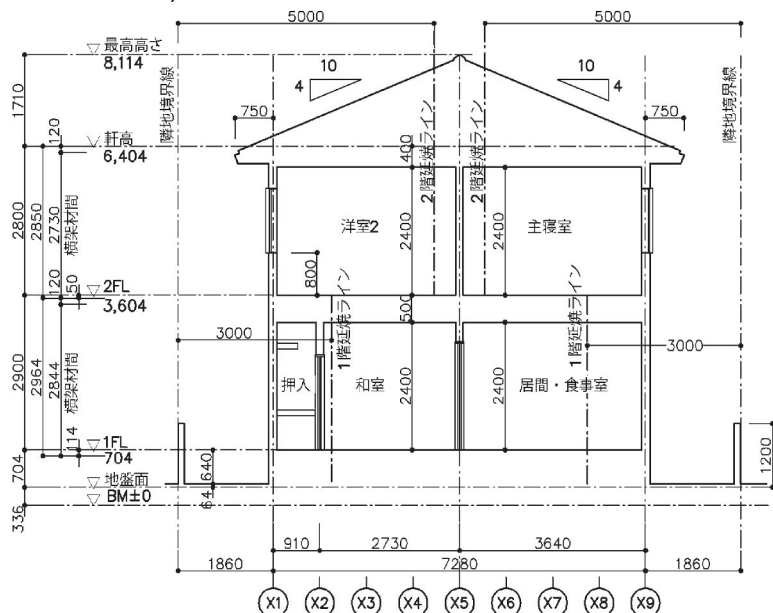
■1階平面図 S=1/100



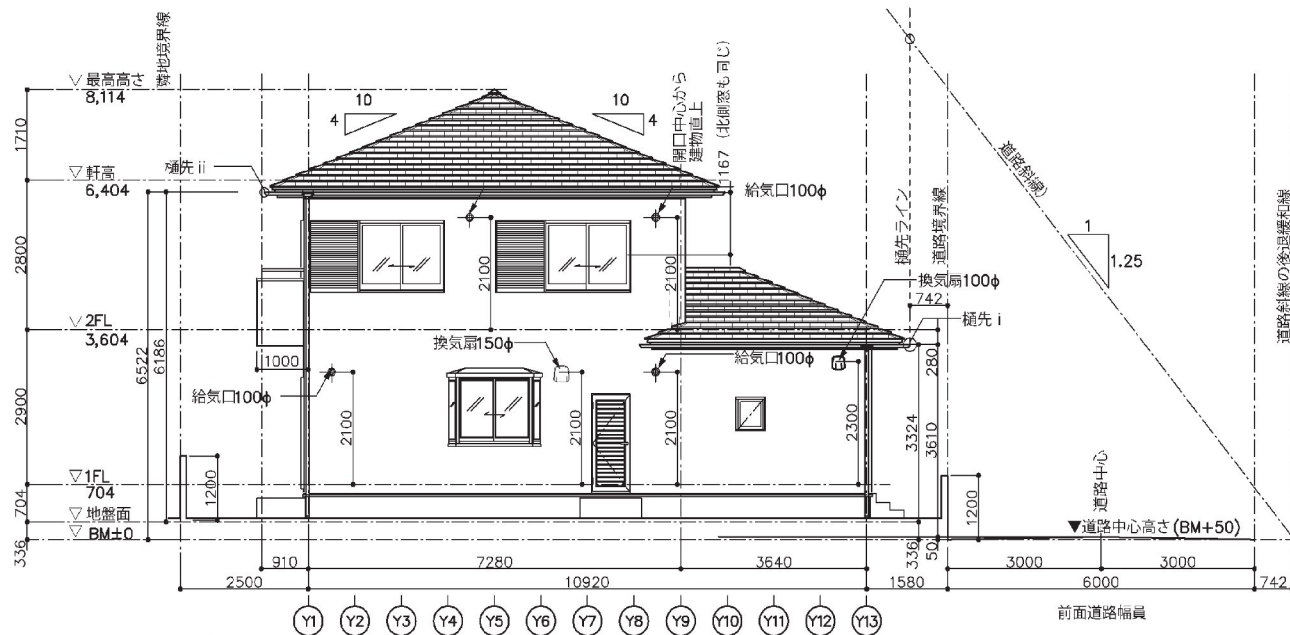
■2階平面図 S=1/100



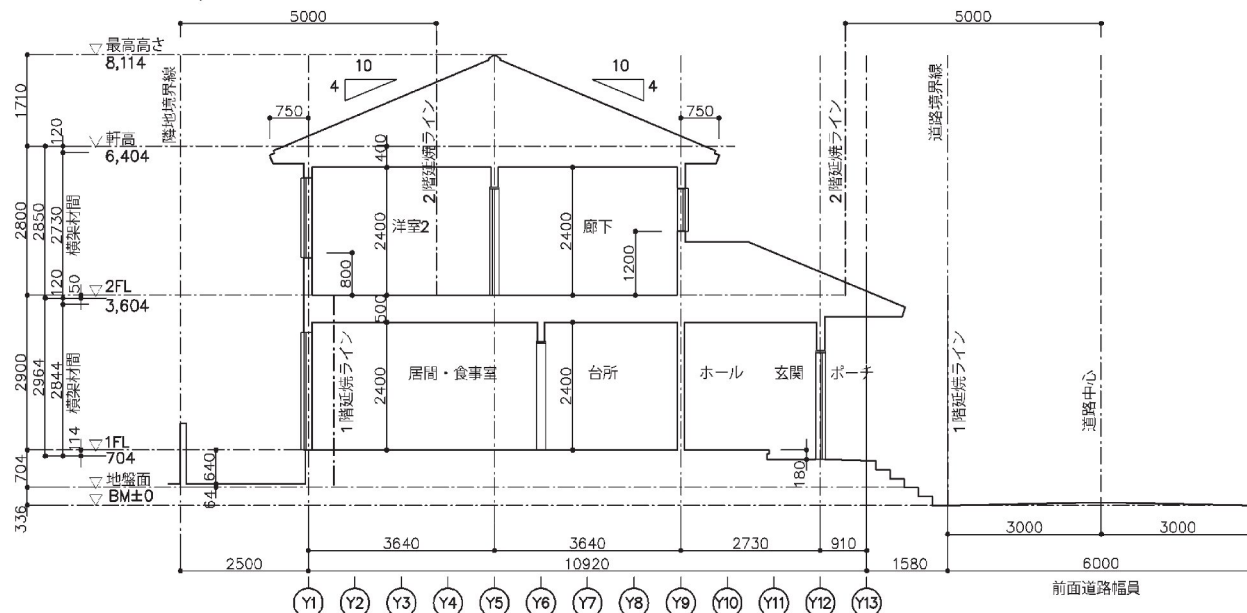
■南側立面図 S=1/100



■X-X断面図 S=1/100



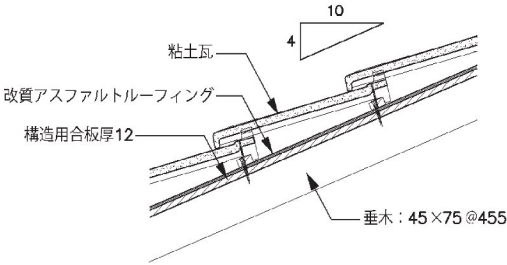
■東側立面図 S=1/100



■Y-Y断面図 S=1/100

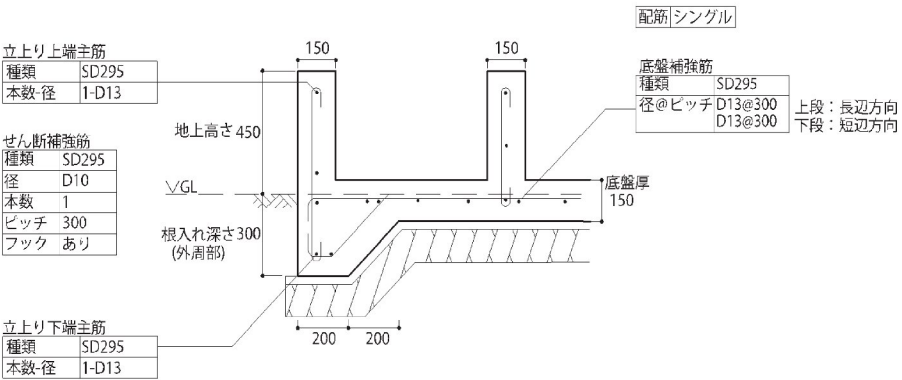
	一級建築士事務所 ○○○○建築設計事務所 一級建築士事務所 ○○○○建築設計事務所 一級建築士 ○○○○大田登特第 ○○○○ 建築 次郎	〇〇邸新築工事 立面図・断面図 1/100 04
--	---	-----------------------------------

■耐火構造等の構造詳細図（屋根） S=1/10

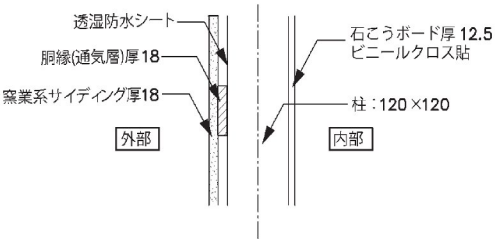


■基礎の仕様 S=1/20

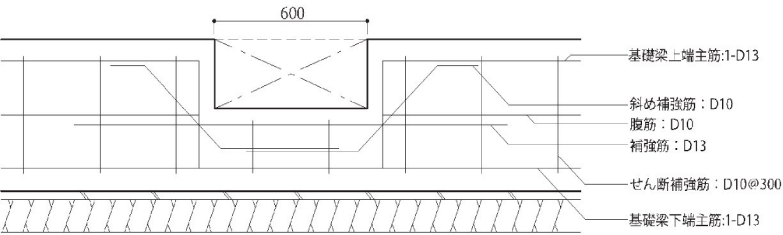
基礎形式 べた基礎 (単位:mm)



■耐火構造等の構造詳細図（外壁） S=1/10



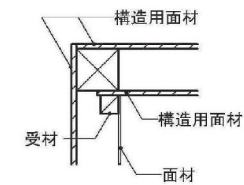
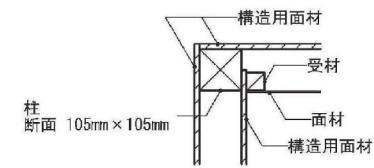
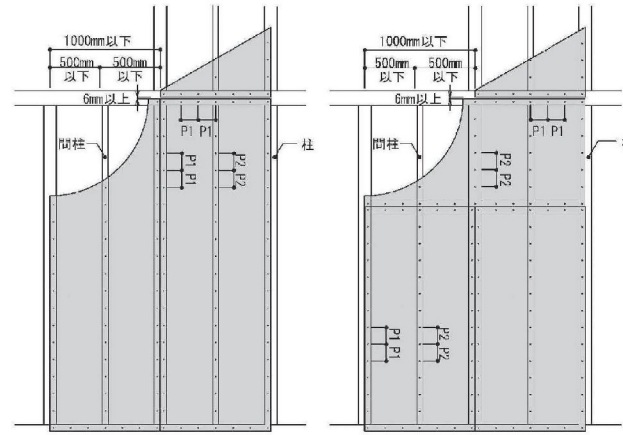
■人入口廻りの開口部補強 S=1/20



○軸組の構造方法

構造用面材との取合い

構造用面材の隅部の取合い

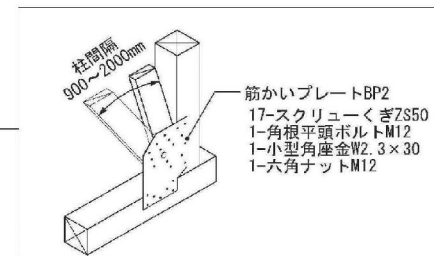
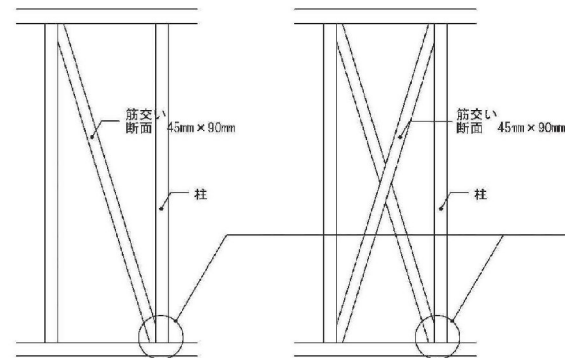


構造用面材の種類	厚み (mm)	くぎの種類	外周部くぎ間隔P1	内部くぎ間隔P2	壁倍率
構造用合板	9	N50	150mm以下	150mm以下	2.5

筋交いとの取合い

(片筋交い45mm × 90mm)

(たすき掛け筋交い45mm × 90mm)



一級建築士事務所

○○○○建築設計事務所
一級建築士事務所○○加筆金額○○○○号
一級建築士○○○○人図巻録第○○○○号
建築 次郎

○中図

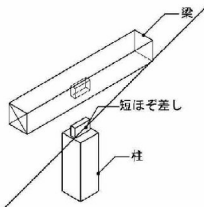
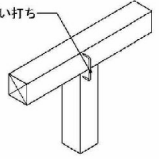
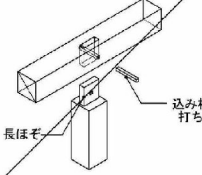
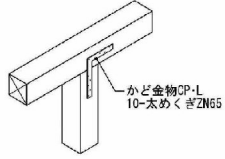
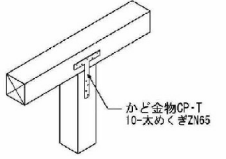
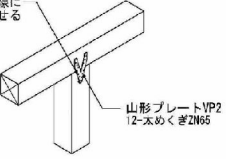
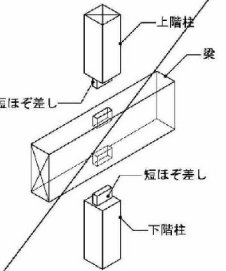
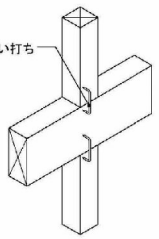
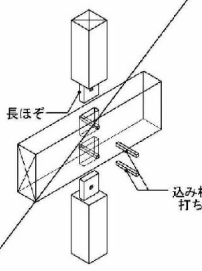
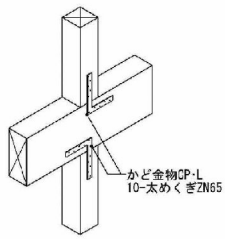
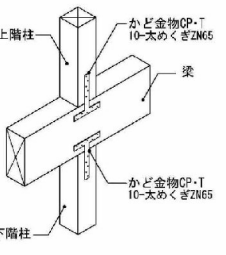
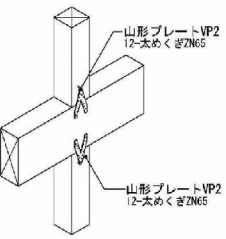
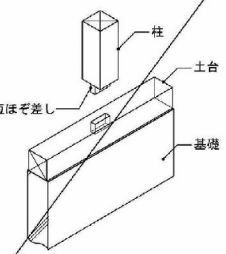
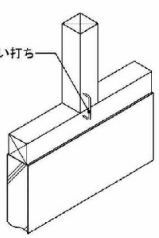
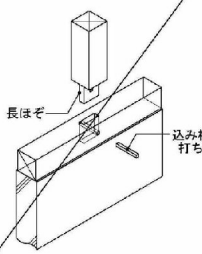
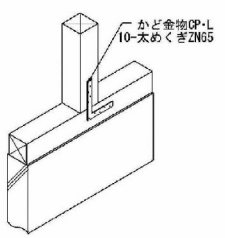
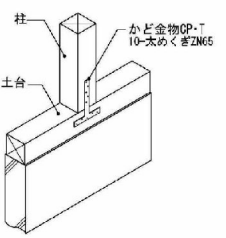
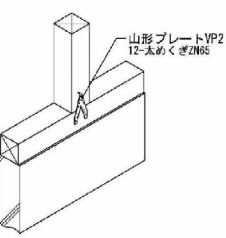
○○邸新築工事

構造詳細図(2)

—

06

■継手及び仕口の構造方法

	(い) 短ほぞ差し	(い) かすがい打ち	(ろ) 長ほぞ差し込み栓打ち	(ろ) かど金物CP-L	(は) かど金物CP-T	(は) 山形プレートVP2
柱頭						
上下階						
柱脚						

■継手及び仕口の構造方法

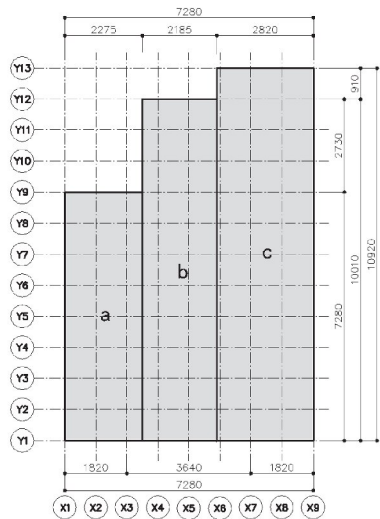
	(1) 羽子板ボルトSB・F2(E2)、羽子板パイプSP・E2	(2) 短ざく金物S(スクリューくぎなし)	(3) 羽子板ボルトSB・F(E)、羽子板パイプSP・E	(4) 短ざく金物S(スクリューくぎあり)
柱頭	羽子板ボルト SB・F2 1-六角ボルトM12 2-六角ナットM12 2-角座金W4.5×40 羽子板パイプ SP・E2 2-六角ボルトM12 2-六角ナットM12 2-角座金W4.5×40 ※羽子板ボルトSB・E2でも可		羽子板ボルト SB・F 1-六角ボルトM12 2-六角ナットM12 2-角座金W4.5×40 1-スクリューくぎZS50 羽子板パイプ SP・E 2-六角ボルトM12 2-六角ナットM12 2-角座金W4.5×40 1-スクリューくぎZS50	
上下端	羽子板ボルト SB・F2 1-六角ボルトM12 2-六角ナットM12 2-角座金W4.5×40 羽子板パイプ SP・E2 2-六角ボルトM12 2-六角ナットM12 2-角座金W4.5×40	六角ボルトM12 スクリューくぎなし ZS50 短ざく金物S 2-六角ボルトM12 2-六角ナットM12 2-角座金W4.5×40	羽子板ボルト SB・F 1-六角ボルトM12 2-六角ナットM12 2-角座金W4.5×40 1-スクリューくぎZS50 羽子板パイプ SP・E 2-六角ボルトM12 2-六角ナットM12 2-角座金W4.5×40 1-スクリューくぎZS50	短ざく金物S 2-六角ボルトM12 2-六角ナットM12 2-角座金W4.5×40 3-スクリューくぎZS50
柱脚	羽子板パイプ SP・E2 2-六角ボルトM12 2-六角ナットM12 2-角座金W4.5×40 座場り 柱 土台 基礎		羽子板パイプ SP・E 2-六角ボルトM12 2-六角ナットM12 2-角座金W4.5×40 1-スクリューくぎZS50	

■継手及び仕口の構造方法

柱頭	(へ) 引き寄せ金物S-HD10	(と) 引き寄せ金物S-HD15	(ち) 引き寄せ金物S-HD20	(り) 引き寄せ金物S-HD25	(め) 引き寄せ金物S-HD15×2
	座金付きボルト M16W 引き寄せ金物 S-HD10 1-座金付きボルト M16W 1-六角ナット M16 2-六角ボルト M12 2-六角ナット M12 2-角座金 W4.5×40	座金付きボルト M16W 引き寄せ金物 S-HD15 1-座金付きボルト M16W 1-六角ナット M16 3-六角ボルト M12 3-六角ナット M12 3-角座金 W4.5×40	座金付きボルト M16W 引き寄せ金物 S-HD20 1-座金付きボルト M16W 1-六角ナット M16 4-六角ボルト M12 4-六角ナット M12 4-角座金 W4.5×40	座金付きボルト M16W 引き寄せ金物 S-HD25 1-座金付きボルト M16W 1-六角ナット M16 5-六角ボルト M12 5-六角ナット M12 5-角座金 W4.5×40	座金付きボルト M16W 引き寄せ金物 S-HD15×2 2-座金付きボルト M16W 2-六角ナット M16 6-六角ボルト M12 6-六角ナット M12 6-角座金 W4.5×40
上下階	引き寄せ金物 S-HD10 1-六角ボルト M16 1-六角ナット M16 2-六角ボルト M12 2-六角ナット M12 2-角座金 W4.5×40 六角ボルト M16 又は両ねじボルト M16	引き寄せ金物 S-HD15 1-六角ボルト M16 1-六角ナット M16 3-六角ボルト M12 3-六角ナット M12 3-角座金 W4.5×40 六角ボルト M16 又は両ねじボルト M16	引き寄せ金物 S-HD20 1-六角ボルト M16 1-六角ナット M16 4-六角ボルト M12 4-六角ナット M12 4-角座金 W4.5×40 六角ボルト M16 又は両ねじボルト M16	引き寄せ金物 S-HD25 1-六角ボルト M16 1-六角ナット M16 5-六角ボルト M12 5-六角ナット M12 5-角座金 W4.5×40 六角ボルト M16 又は両ねじボルト M16	引き寄せ金物 S-HD15×2 2-六角ボルト M16 2-六角ナット M16 6-六角ボルト M12 6-六角ナット M12 6-角座金 W4.5×40 六角ボルト M16 又は両ねじボルト M16
柱脚	引き寄せ金物 S-HD10 1-座金付きボルト M16W 1-六角ナット M16 2-六角ボルト M12 2-六角ナット M12 2-角座金 W4.5×40 座金付きボルト M16W アンカーボルト M16	引き寄せ金物 S-HD15 1-アンカーボルト M16 1-六角ナット M16 3-六角ボルト M12 3-六角ナット M12 3-角座金 W4.5×40 アンカーボルト M16	引き寄せ金物 S-HD20 1-アンカーボルト M16 1-六角ナット M16 4-六角ボルト M12 4-六角ナット M12 4-角座金 W4.5×40 アンカーボルト M16	引き寄せ金物 S-HD25 1-アンカーボルト M16 1-六角ナット M16 5-六角ボルト M12 5-六角ナット M12 5-角座金 W4.5×40 アンカーボルト M16	引き寄せ金物 S-HD15×2 2-アンカーボルト M16 2-六角ナット M16 6-六角ボルト M12 6-六角ナット M12 6-角座金 W4.5×40 アンカーボルト M16

柱と土台の仕口 (長ぼぞ差し+込み栓打ち)
はりの仕口 (大入れあり掛け)
小屋ばりと軒げたとの仕口及び取合い (大入れあり掛け)
軒げたとたる木の仕口 (ひねり金物)

■1階床面積根拠図



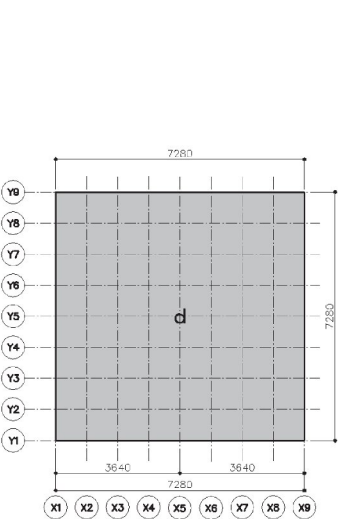
■1階床面積計算表

区画	縦 (m)	横 (m)	床面積 (㎡)	備考
a	7.280	2.275	16.5620000	
b	10.010	2.185	21.8718500	
c	10.920	2.820	30.7944000	

■壁量判定用床面積

階	部位	計算式	壁量判定用床面積 (㎡)
2階	床	d	53.00
	合計	(2階床)	53.00
1階	床	a+b+c	69.23
	合計	(1階床)	69.23

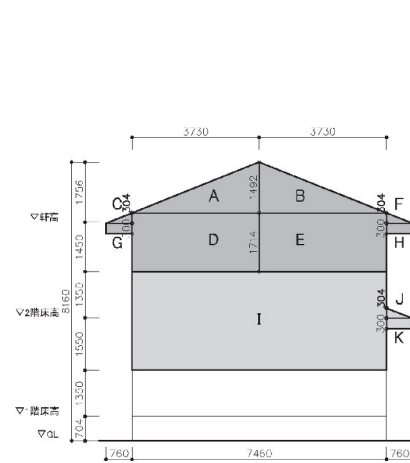
■2階床面積根拠図



■2階床面積計算表

区画	縦 (m)	横 (m)	床面積 (㎡)	備考
d	7.280	7.280	52.9984000	

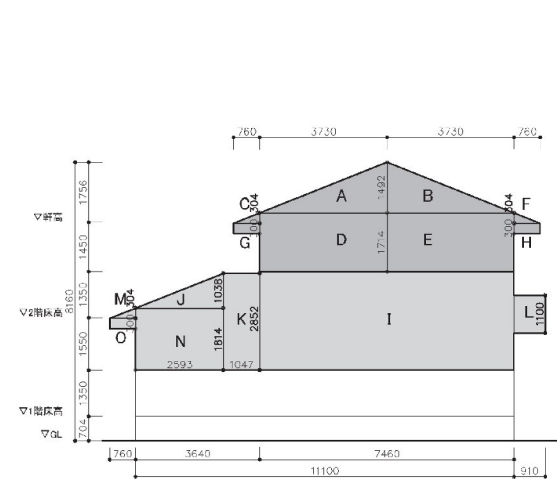
■X軸方向見付面積根拠図



■X方向見付面積計算表

区画	計算式	面積 (㎡)
A	$3.730 \times 1.492 \div 2$	2.7825800
B	$3.730 \times 1.492 \div 2$	2.7825800
C	$0.760 \times 0.304 \div 2$	0.1155200
D	3.730×1.714	6.3932200
E	3.730×1.714	6.3932200
F	$0.760 \times 0.304 \div 2$	0.1155200
G	0.760×0.300	0.2280000
H	0.760×0.300	0.2280000
I	7.460×2.900	21.6340000
J	$0.760 \times 0.304 \div 2$	0.1155200
K	0.760×0.300	0.2280000

■Y軸方向見付面積根拠図



■Y方向見付面積計算表

区画	計算式	面積 (㎡)
A	$3.730 \times 1.492 \div 2$	2.7825800
B	$3.730 \times 1.492 \div 2$	2.7825800
C	$0.760 \times 0.304 \div 2$	0.1155200
D	3.730×1.714	6.3932200
E	3.730×1.714	6.3932200
F	$0.760 \times 0.304 \div 2$	0.1155200
G	0.760×0.300	0.2280000
H	0.760×0.300	0.2280000
I	7.460×2.900	21.6340000
J	$2.593 \times 1.038 \div 2$	1.3457670
K	1.047×2.852	2.9860440
L	0.910×1.100	1.0010000
M	$0.760 \times 0.304 \div 2$	0.1155200
N	2.593×1.814	4.7037020
O	0.760×0.300	0.2280000

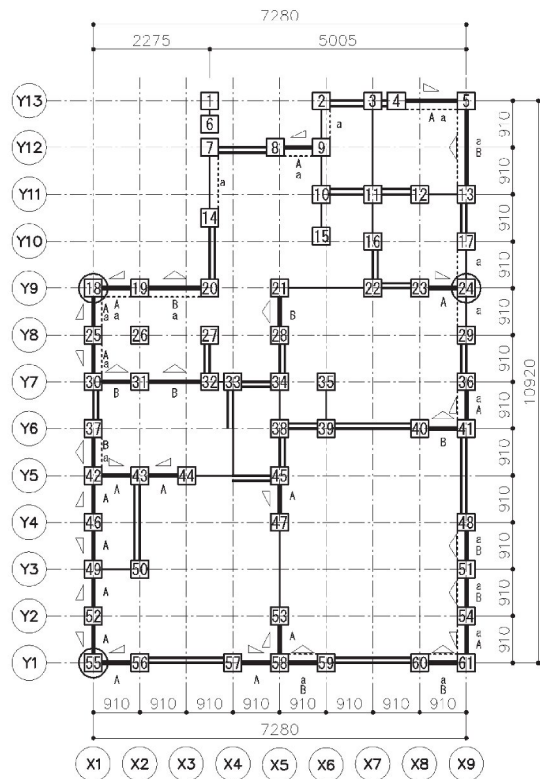
■X軸方向見付面積計算結果→Y方向必要壁量の根拠

階	計算式	見付面積 (㎡)
2階	2階A+B+C+D+E+F+G+H	19.04
1階	1階A+B+C+D+E+F+G+H+I+J+K	41.02

■Y軸方向見付面積計算結果→X方向必要壁量の根拠

階	計算式	見付面積 (㎡)
2階	2階A+B+C+D+E+F+G+H	19.04
1階	1階A+B+C+D+E+F+G+H+I+J+K+L+M+N+O	51.05

■1階壁量平面図



凡例 一般壁 耐力壁 筋かいダブル 筋かいシングル 開口部 標準耐力壁等 柱 通し柱

■耐力壁・標準耐力壁仕様一覧

種類	壁記号	材種名	基準倍率	係数	開口有無	開口高さ (cm)	取付高さ (cm)	下地貼材高さ (cm)	垂壁高さ (cm)	腰壁高さ (cm)	下地貼材実高さ (cm)	横架材間内法寸法 (cm)	有効壁倍率	最低厚さ (mm)	規格	くぎ打ちの方法 種類 間隔 (mm)
耐力壁	A	筋かい(45×90)(シングル)	2.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2.00	-	-	-
	B	筋かい(45×90)(ダブル)	4.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4.00	-	-	-
標準耐力壁等	a	石膏ボード(床勝ち大壁)	0.9	0.6	無	0.0	0.0	240.0	240.0	0.0	240.0	284.4	0.45	12.0	JIS A6901-2005	GNF40又はGNC40 150以下
	b	石膏ボード(床勝ち大壁)	0.9	0.6	無	0.0	0.0	240.0	240.0	0.0	240.0	273.0	0.47	12.0	JIS A6901-2005	GNF40又はGNC40 150以下

・有効壁倍率=基準倍率×係数×下地貼材実高さ÷横架材間内法寸法

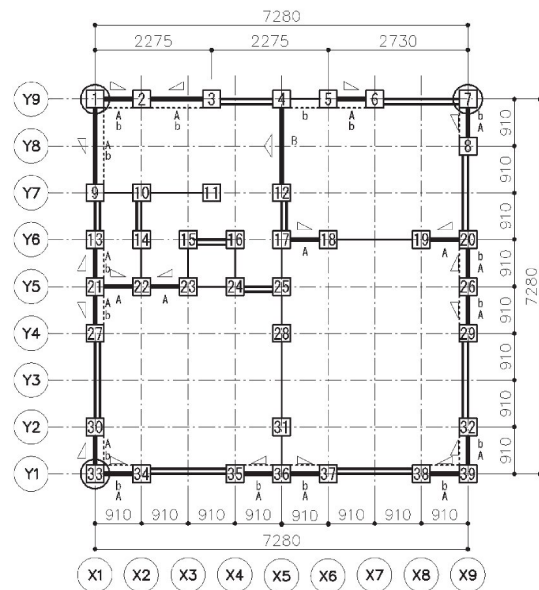
※本表に記載する以外の標準耐力壁等の算入は行わない。

■壁量判定(必要壁量検討方法:A早見表)

階・方向	地震力に対する床面積当たりの必要壁量			風圧力に対する見付け面積当たりの必要壁量			必要壁量の決定				存在壁量 (cm)	壁量判定 必要壁量 ≤ 存在壁量
	床面積 (㎡)	係数 (cm/㎡)	必要壁量 (cm)	見付面積 (㎡)	係数 (cm/㎡)	必要壁量 (cm)	地震力 (cm)	記号	風圧力 (cm)	必要壁量 (cm)		
	A	B	C = A × B	D	E	F = D × E	C		F	G	H	G ≤ H
2階 X 方向	53.00	27	1,431.00	19.04	50	952.00	1,431.00	>	952.00	1,431.00	2,456.55	OK
2階 Y 方向			1,431.00	19.04		952.00	1,431.00	>	952.00	1,431.00	2,750.93	OK
1階 X 方向	69.23	39	2,699.97	51.05	50	2,552.50	2,699.97	>	2,552.50	2,699.97	4,381.65	OK
1階 Y 方向			2,699.97	41.02		2,051.00	2,699.97	>	2,051.00	2,699.97	4,556.83	OK

- ・風圧力の区分：一般地域
- ・各階ごとに、X方向、Y方向のそれぞれについて、CとFを比較して、大きい方をこの建築物の必要壁量として採用します。
- ・地震力の必要壁量は、「地震割増(令第46条第4項)」を含む(地震割増:1.0)

■2階壁量平面図



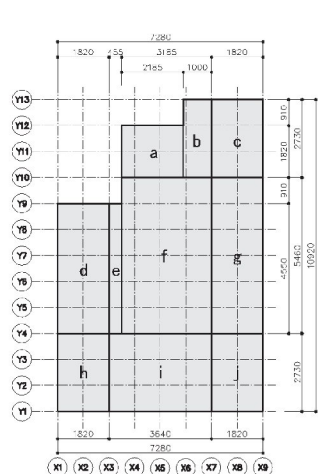
■存在壁量の算定

階・方向	壁記号	有効壁倍率	壁長 (cm)	存在壁量 (耐力壁) (cm)	存在壁量 (標準耐力壁等) (cm)	存在壁量 (合計) (cm)
2階/X方向	A	2.00	1,046.50	2,093.00	363.55	2,456.55
	b	0.47	773.50			
2階/Y方向	A	2.00	819.00	1,638.00	384.93	2,750.93
	B	4.00	182.00	728.00		
1階/X方向	a	0.45	637.00	1,547.00	286.65	4,381.65
	B	4.00	910.00	2,548.00		
1階/Y方向	A	2.00	910.00	1,820.00	552.83	4,556.83
	a	0.45	1,228.50	2,184.00		

■標準耐力壁等の必要壁量に対する割合の確認

階・方向	必要壁量 (cm)	存在壁量 (標準耐力壁等) (cm)	B/A	判定
	A	B	C	C<1/2
2階/X方向	1,431.00	363.55	0.26	OK
2階/Y方向	1,431.00	384.93	0.27	OK
1階/X方向	2,699.97	286.65	0.11	OK
1階/Y方向	2,699.97	552.83	0.21	OK

- ・各階・各方向の必要壁量の1/2以下の範囲内で標準耐力壁等を加算する場合、標準耐力壁等を考慮せずに壁配置のバランスの確認を行います。また、壁倍率が1.5倍以下の標準耐力壁等を考慮せずに柱頭・柱脚の接合方法の確認を行います。

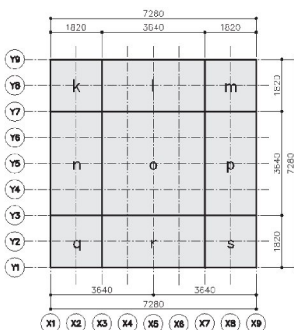


■1階四分劃法面積根拠図

■区画別床面積計算表
[1階]

区画	縦 (m)	横 (m)	床面積 (㎡)	備考
a	1.820	2.185	3.9767000	
b	2.730	1.000	2.7300000	
c	2.730	1.820	4.9686000	
d	4.550	1.820	8.2810000	
e	4.550	0.455	2.0702500	
f	5.460	3.185	17.3901000	
g	5.460	1.820	9.9372000	
h	2.730	1.820	4.9686000	
i	2.730	3.640	9.9372000	
j	2.730	1.820	4.9686000	

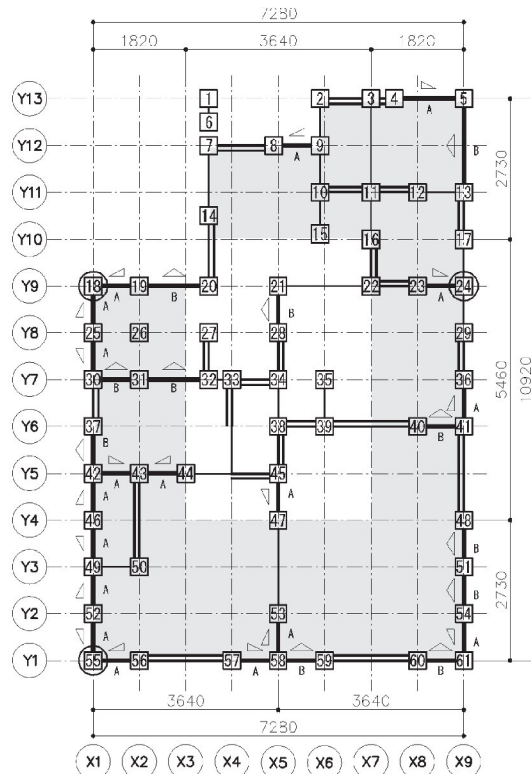
凡例 □ 床面積区画 a b c...床面積区画名



■2階四分劃法面積根拠図

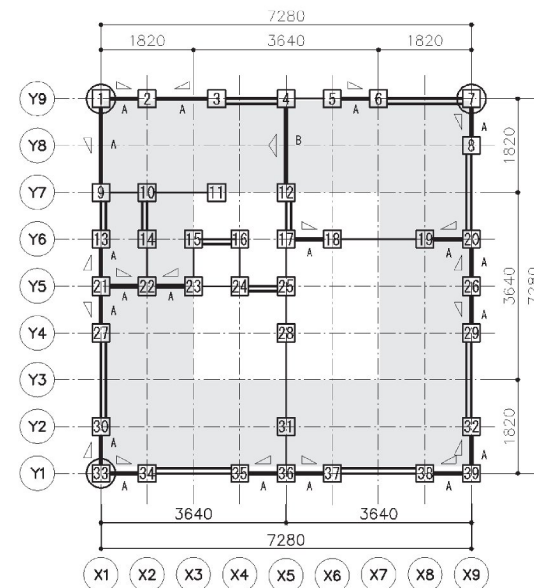
[2階]

区画	縦 (m)	横 (m)	床面積 (㎡)	備考
k	1.820	1.820	3.3124000	
l	1.820	3.640	6.6248000	
m	1.820	1.820	3.3124000	
n	3.640	1.820	6.6248000	
o	3.640	3.640	13.2496000	
p	3.640	1.820	6.6248000	
q	1.820	1.820	3.3124000	
r	1.820	3.640	6.6248000	
s	1.820	1.820	3.3124000	



■1階四分劃法平面図

凡例 — 一般壁 — 耐力壁 △ 筋かいダブル 田 柱
= 開口部 □ 1/4範囲 斜線△ 筋かいシングル 田 通し柱



■2階四分劃法平面図

■四分劃対象面積

階	方向	位置	計算式	面積 (㎡)
2	X	上	(k+l+m)	13.25
		下	(q+r+s)	13.25
	Y	左	(k+n+q)	13.25
		右	(m+p+s)	13.25
1	X	上	(a+b+c)	11.68
		下	(h+i+j)	19.88
	Y	左	(d+h)	13.25
		右	(c+g+j)	19.88

■四分劃法判定

階	方向	位置	有効面積 (㎡)	壁量係数 (cm/㎡)	地盤制端	必要壁量 (cm)	存在壁量 (cm)	壁量充足率	壁量充足率判定	壁量充足率がNGの場合のみ
2	X	上	①	②	③	④=①×②×③	⑤	⑥=⑤÷④	⑦>1.00	⑧=⑦小⑨大
		下	13.25	27	1.0	357.75	637.00	1.78	OK	(0.87)
	Y	左	13.25	27	1.0	357.75	728.00	2.03	OK	(OK)
		右	13.25	27	1.0	357.75	910.00	2.54	OK	(OK)
1	X	上	11.68	20(※)	1.0	233.60	455.00	1.95	OK	(0.72)
		下	19.88	39	1.0	775.32	1,092.00	1.41	OK	(OK)
	Y	左	13.25	39	1.0	516.75	1,456.00	2.82	OK	(0.83)
		右	19.88	39	1.0	775.32	1,820.00	2.35	OK	(OK)

・壁量係数欄の(※)は2階が乗らない領域のため平層の係数を用いたことを表します。
・壁比率判定には、壁量充足率が全てOKの場合記入不要ですが、参考として()を付けて記入しています。

四分劃法判定
適合

■1階X方向上の存在壁量(cm)

種類	Y通り	壁1	壁2	壁3	壁4	壁5	壁6	壁7	壁8	壁9	壁10	合計
耐力壁	Y13	273.00										273.00
存在壁量	Y12	182.00										182.00
												455.00

■1階X方向下の存在壁量(cm)

種類	Y通り	壁1	壁2	壁3	壁4	壁5	壁6	壁7	壁8	壁9	壁10	合計
耐力壁	Y1	182.00	182.00	364.00	364.00							1,092.00
存在壁量												1,092.00

■1階Y方向左の存在壁量(cm)

種類	X通り	壁1	壁2	壁3	壁4	壁5	壁6	壁7	壁8	壁9	壁10	合計
X通り	X1	182.00	182.00	364.00	182.00	182.00	182.00					1,456.00
存在壁量												1,456.00

■1階Y方向右の存在壁量(cm)

種類	X通り	壁1	壁2	壁3	壁4	壁5	壁6	壁7	壁8	壁9	壁10	合計
耐力壁	X9	728.00	182.00	364.00	364.00	182.00						1,820.00
存在壁量												1,820.00

・各通りに存在する耐力壁(筋かい・面材)毎の存在壁量を壁1、壁2、...と表示しています。

(存在壁量 = 耐力壁の壁率 × 長さ とします)

■2階X方向上の存在壁量(cm)

種類	Y通り	壁1	壁2	壁3	壁4	壁5	壁6	壁7	壁8	壁9	壁10	合計
耐力壁	Y9	182.00	273.00	182.00								637.00
存在壁量												637.00

■2階X方向下の存在壁量(cm)

種類	Y通り	壁1	壁2	壁3	壁4	壁5	壁6	壁7	壁8	壁9	壁10	合計
耐力壁	Y1	182.00	182.00	182.00	182.00							728.00
存在壁量												728.00

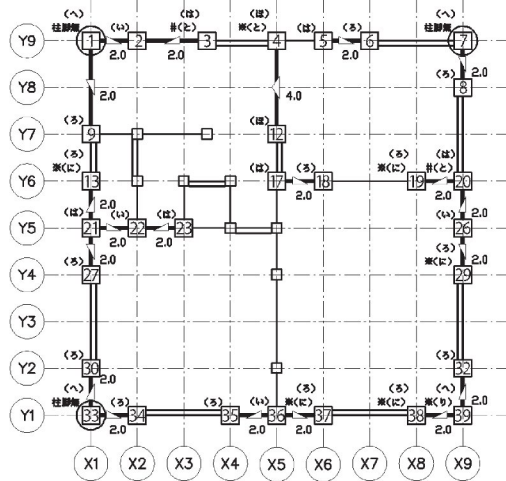
■2階Y方向左の存在壁量(cm)

種類	X通り	壁1	壁2	壁3	壁4	壁5	壁6	壁7	壁8	壁9	壁10	合計
X通り	X1	364.00	182.00	182.00	182.00							910.00
存在壁量												910.00

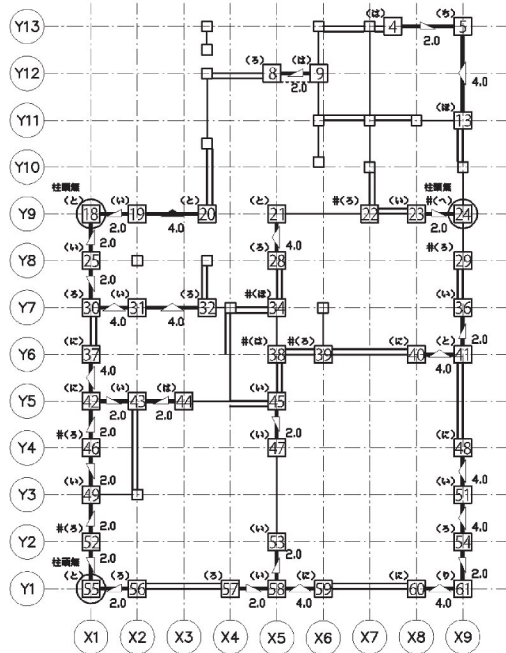
■2階Y方向右の存在壁量(cm)

種類	X通り	壁1	壁2	壁3	壁4	壁5	壁6	壁7	壁8	壁9	壁10	合計
耐力壁	X9	182.00	182.00	182.00	182.00							728.00
存在壁量												728.00

■2階柱頭柱脚金物算定平面図



■1階柱頭柱脚金物算定平面図



凡例
— 一般壁
— 耐力壁
△ 筋かいダブル
筋かいシングル
柱
通し柱

■1階柱頭柱脚金物算定表

柱	方向	柱状況	1階					柱	柱状況	2階					接合金物	
			パターン	補正値	A1	B1	2.7/2.7			パターン	補正値	A2	B2	L	2.7/2.7	N
4	X	下層ノ他柱	0.0	2.0	0.5	2.5	0.5	1.0						0.6	1.0	0.65
5	X	下層ノ出隅	2.0	0.0	0.5	1.5	0.8	1.0						0.4	1.0	0.80
8	X	下層ノ他柱	0.0	2.0	0.5	2.5	0.5	1.0						0.6	1.0	0.65
9	X	下層ノ出隅	2.0	0.0	0.5	1.5	0.8	1.0						0.4	1.0	0.80
13	Y	下層ノ他柱	0.0	2.0	0.5	2.5	0.5	1.0						0.6	1.0	0.65
18	Y	下層ノ出隅	2.0	0.0	0.5	1.5	0.8	1.0						0.4	1.0	0.80
19	X	他柱	2.0	0.0	0.5	2.5	0.5	1.0	1	出隅	0.0	2.0	0.5	2.5	0.8	1.0
20	X	他柱	2.0	0.0	0.5	2.5	0.5	1.0	2	他柱	2.0	0.0	0.5	2.5	0.8	1.0
21	Y	他柱	2.0	0.0	0.5	2.5	0.5	1.0	3	他柱	2.0	0.0	0.5	2.5	0.8	1.0
22	Y	他柱	2.0	0.0	0.5	2.5	0.5	1.0	4	他柱	2.0	0.0	0.5	2.5	0.8	1.0
23	X	他柱	2.0	0.0	0.5	2.5	0.5	1.0	5	他柱	2.0	0.0	0.5	2.5	0.8	1.0
24	Y	他柱	2.0	0.0	0.5	2.5	0.5	1.0	6	他柱	2.0	0.0	0.5	2.5	0.8	1.0
25	Y	他柱	2.0	0.0	0.5	2.5	0.5	1.0	7	出隅	2.0	0.0	0.5	2.5	0.8	1.0
28	Y	他柱	2.0	0.0	0.5	2.5	0.5	1.0	8	他柱	2.0	0.0	0.5	2.5	0.8	1.0
29	Y	他柱	2.0	0.0	0.5	2.5	0.5	1.0	9	他柱	2.0	0.0	0.5	2.5	0.8	1.0
30	X	他柱	2.0	0.0	0.5	2.5	0.5	1.0	10	他柱	2.0	0.0	0.5	2.5	0.8	1.0
31	X	他柱	2.0	0.0	0.5	2.5	0.5	1.0	11	他柱	2.0	0.0	0.5	2.5	0.8	1.0
32	X	他柱	2.0	0.0	0.5	2.5	0.5	1.0	12	他柱	2.0	0.0	0.5	2.5	0.8	1.0
34	Y	他柱	2.0	0.0	0.5	2.5	0.5	1.0	13	他柱	2.0	0.0	0.5	2.5	0.8	1.0
36	Y	他柱	2.0	0.0	0.5	2.5	0.5	1.0	14	他柱	2.0	0.0	0.5	2.5	0.8	1.0
37	X	他柱	2.0	0.0	0.5	2.5	0.5	1.0	15	他柱	2.0	0.0	0.5	2.5	0.8	1.0
38	X	他柱	2.0	0.0	0.5	2.5	0.5	1.0	16	他柱	2.0	0.0	0.5	2.5	0.8	1.0
39	X	他柱	2.0	0.0	0.5	2.5	0.5	1.0	17	他柱	2.0	0.0	0.5	2.5	0.8	1.0
40	X	他柱	2.0	0.0	0.5	2.5	0.5	1.0	18	他柱	2.0	0.0	0.5	2.5	0.8	1.0
41	Y	他柱	2.0	0.0	0.5	2.5	0.5	1.0	19	他柱	2.0	0.0	0.5	2.5	0.8	1.0
42	X	他柱	2.0	0.0	0.5	2.5	0.5	1.0	20	他柱	2.0	0.0	0.5	2.5	0.8	1.0
43	X	他柱	2.0	0.0	0.5	2.5	0.5	1.0	21	他柱	2.0	0.0	0.5	2.5	0.8	1.0
44	X	他柱	2.0	0.0	0.5	2.5	0.5	1.0	22	他柱	2.0	0.0	0.5	2.5	0.8	1.0
45	Y	他柱	2.0	0.0	0.5	2.5	0.5	1.0	23	他柱	2.0	0.0	0.5	2.5	0.8	1.0
46	Y	他柱	2.0	0.0	0.5	2.5	0.5	1.0	24	他柱	2.0	0.0	0.5	2.5	0.8	1.0
47	Y	他柱	2.0	0.0	0.5	2.5	0.5	1.0	25	他柱	2.0	0.0	0.5	2.5	0.8	1.0
48	Y	他柱	2.0	0.0	0.5	2.5	0.5	1.0	26	他柱	2.0	0.0	0.5	2.5	0.8	1.0
49	Y	他柱	2.0	0.0	0.5	2.5	0.5	1.0	27	他柱	2.0	0.0	0.5	2.5	0.8	1.0
51	Y	他柱	2.0	0.0	0.5	2.5	0.5	1.0	28	他柱	2.0	0.0	0.5	2.5	0.8	1.0
52	Y	他柱	2.0	0.0	0.5	2.5	0.5	1.0	29	他柱	2.0	0.0	0.5	2.5	0.8	1.0
53	Y	他柱	2.0	0.0	0.5	2.5	0.5	1.0	30	他柱	2.0	0.0	0.5	2.5	0.8	1.0
54	Y	他柱	2.0	0.0	0.5	2.5	0.5	1.0	31	他柱	2.0	0.0	0.5	2.5	0.8	1.0
55	Y	他柱	2.0	0.0	0.5	2.5	0.5	1.0	32	他柱	2.0	0.0	0.5	2.5	0.8	1.0
56	X	他柱	2.0	0.0	0.5	2.5	0.5	1.0	33	出隅	0.0	2.0	0.5	2.5	0.8	1.0
57	X	他柱	2.0	0.0	0.5	2.5	0.5	1.0	34	出隅	0.0	2.0	0.5	2.5	0.8	1.0
58	X	他柱	2.0	0.0	0.5	2.5	0.5	1.0	35	出隅	0.0	2.0	0.5	2.5	0.8	1.0
59	X	他柱	2.0	0.0	0.5	2.5	0.5	1.0	36	出隅	0.0	2.0	0.5	2.5	0.8	1.0
60	X	他柱	2.0	0.0	0.5	2.5	0.5	1.0	37	出隅	0.0	2.0	0.5	2.5	0.8	1.0
61	X	出隅	0.0	2.0	0.5	2.5	0.8	1.0	38	出隅	0.0	2.0	0.5	2.5	0.8	1.0
									39	出隅	0.0	2.0	0.5	2.5	0.8	1.0

■使用金物一覧

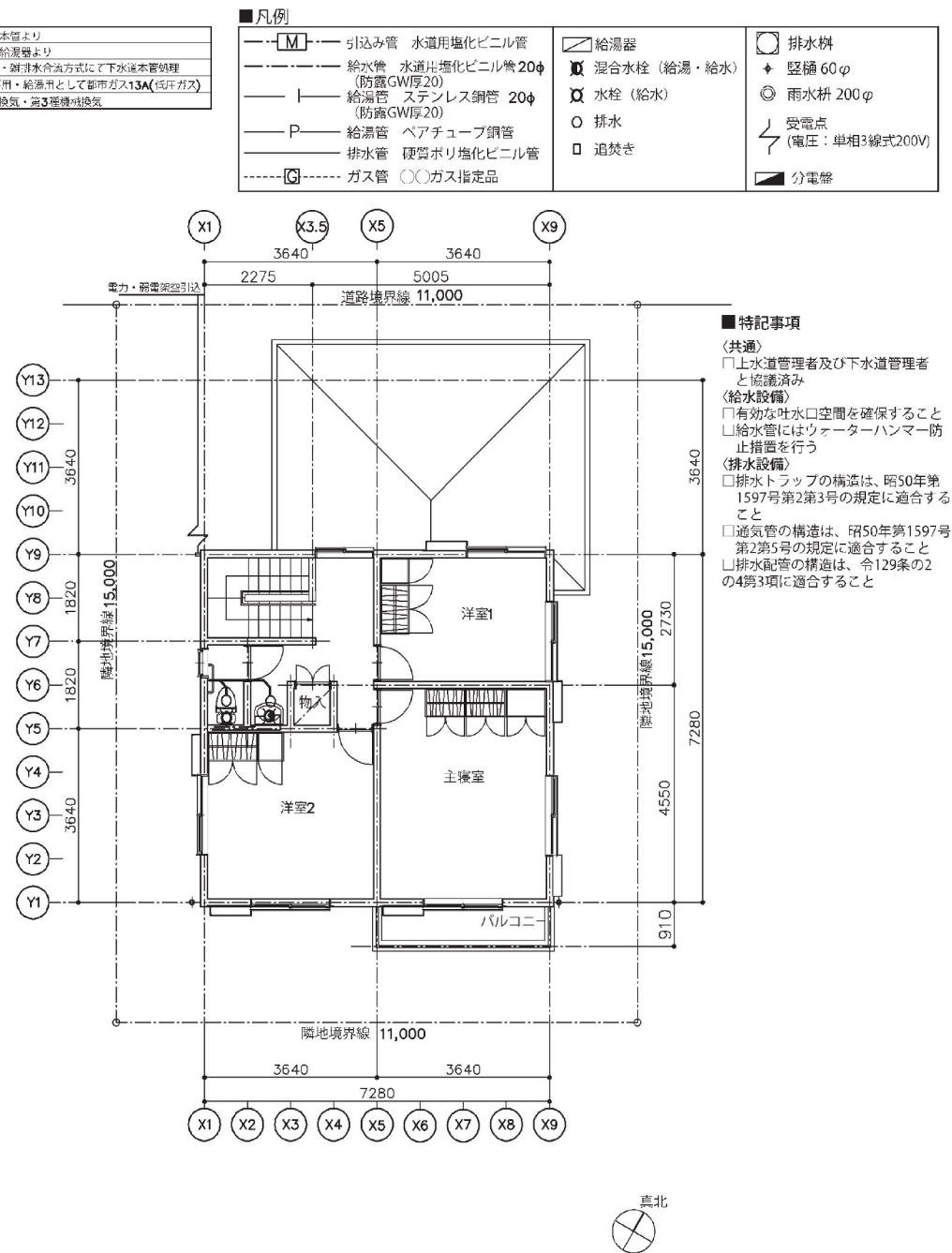
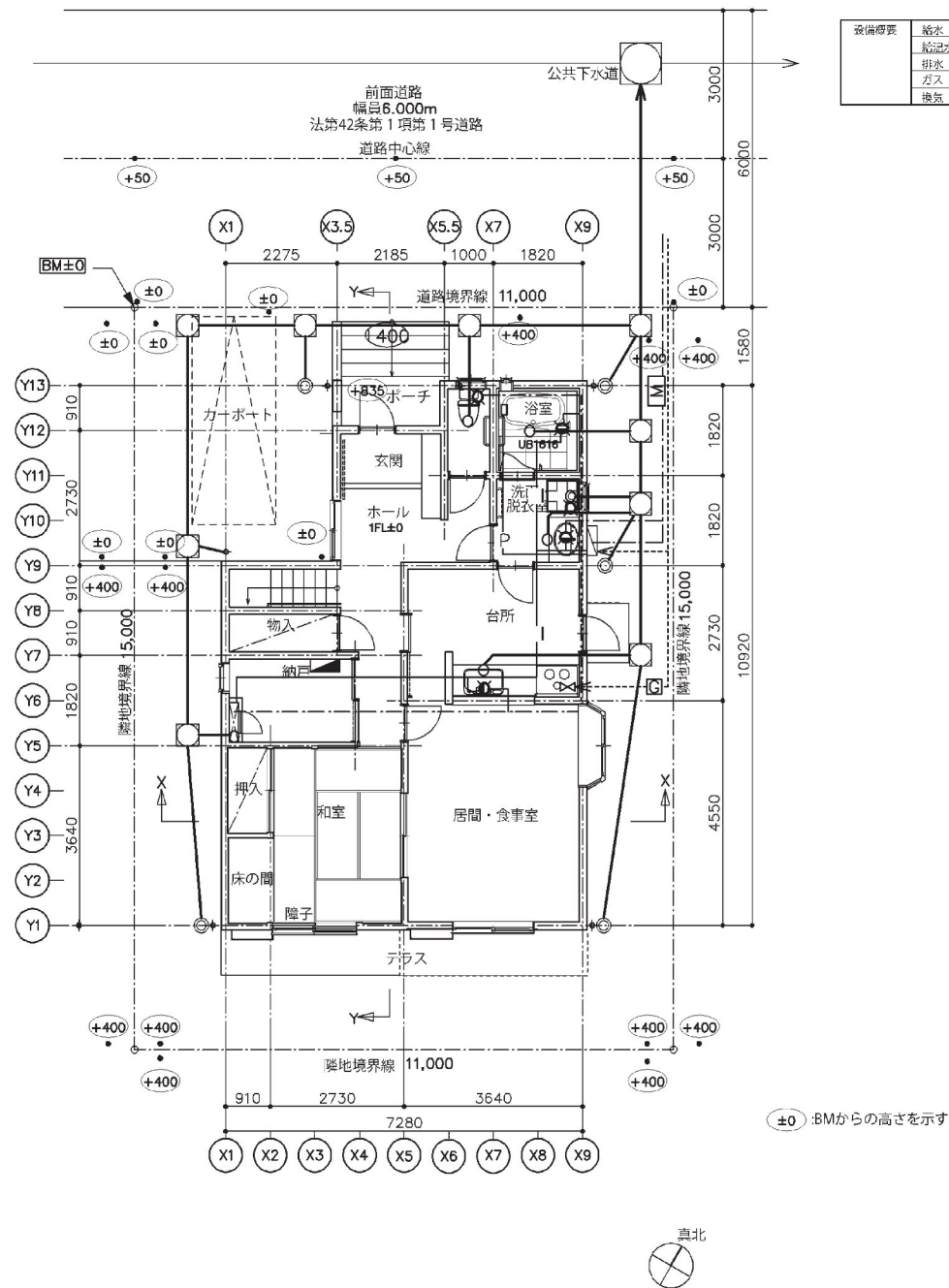
N値	表示	金物名(同等以上)	略称
0	(い)	短ばね差し又はかすがい打ち、又はこれらと同等以上の接合方法としたもの	短バネ
~0.65	(ろ)	長ばね差し込み栓又はかど金物CP-L、又はこれらと同等以上の接合方法としたもの	CP-L
~1.0	(ほ)	山形プレートVP又はかど金物CP-T、又はこれらと同等以上の接合方法としたもの	VP
~1.4	(に)	羽子板ボルト又は羽子板金物(スクリーナ針なし)、又はこれらと同等以上の接合方法としたもの	S3-F2
~1.6	(ほ)	羽子板ボルト又は羽子板金物(スクリーナ針あり)、又はこれらと同等以上の接合方法としたもの	S3-F
~1.8	(へ)	10kN引き寄せ金物、又はこれらと同等以上の接合方法としたもの	HD-B10
~2.8	(と)	15kN引き寄せ金物、又はこれらと同等以上の接合方法としたもの	HD-B15
~3.7	(ち)	20kN引き寄せ金物、又はこれらと同等以上の接合方法としたもの	HD-B20
~4.7	(り)	25kN引き寄せ金物、又はこれらと同等以上の接合方法としたもの	HD-B25
~5.6	(ほ)	15kN引き寄せ金物×2、又はこれらと同等以上の接合方法としたもの	HD-B15X2
5.6超	(一)		N>5.6

■記号の説明

・「方向」…柱に斜め方向の耐力壁が取り付けられる場合は方向が「21方向」「22方向」となります。(最大斜め2方向まで)
・「パターン」…柱内側の耐力壁の取り付け方を表しています。X:筋かいダブル / 筋かいシングル
・「2階 柱状況」…()表記は、1階の柱から見た2階の柱の平面位置を表しています。
・「接合金物(柱頭・柱脚)」…#は1階柱の金物をよりN値の大きい2階柱の金物に合わせたことを表しています。
(2階柱の引張力を土台・基礎に伝達するため)
※は2階柱脚金物をよりN値の大きい1階柱頭の金物に揃えたことを表しています。
(1つの金物で上下階の柱を接合するため)

■2階柱頭柱脚金物算定表

棟	柱	方向	柱状況	パターン	補正値	A1	B1	L	2.7/2.7	N	接合金物		
											柱頭	柱脚	
a)	1	X	出隅	0.0	2.0	0.5	2.5	0.8	0.4	1.0	1.60	(ほ)	無造り
		Y		2.0	0.0	0.5	2.5	0.8	0.4	1.0	1.60		
	2	X	他柱	2.0	0.0	0.5	2.5	0.8	0.6	1.0	-0.60	(い)	
	3	X	他柱	2.0	0.0	0.5	2.5	0.8	0.6	1.0	0.65	(ろ)	※(へ)
	4	Y	他柱	4.0	0.0	0.5	2.5	0.8	0.6	1.0	1.40	(に)	※(と)
	5	X	他柱	0.0	2.0	0.5	2.5	0.8	0.6	1.0	0.65	(ろ)	
	6	X	他柱	2.0	0.0	0.5	2.5	0.8	0.6	1.0	0.15	(ろ)	
	7	Y	出隅	2.0	0.0	0.5	2.5	0.8	0.4	1.0	1.60	(ほ)	無造り(柱)
	8	Y	他柱	0.0	2.0	0.5	2.5	0.8	0.6	1.0	0.15	(ろ)	
	9	Y	他柱	0.0	2.0	0.5	2.5	0.8	0.6	1.0	0.15	(ろ)	
b)	12	Y	他柱	0.0	2.0	0.5	2.5	0.8	0.6	1.0	1.40	(に)	(北)
	13	Y	他柱	2.0	0.0	0.5	2.5	0.8	0.6	1.0	0.15	(ろ)	※(北)
	17	X	他柱	0.0	2.0	0.5	2.5	0.8	0.6	1.0	0.65	(ろ)	
	18	X	他柱	2.0	0.0	0.5	2.5	0.8	0.6	1.0	0.15	(ろ)	
	19	X	他柱	0.0	2.0	0.5	2.5	0.8	0.6	1.0	0.15	(ろ)	※(北)
	20	X	他柱	2.0	0.0	0.5	2.5	0.8	0.6	1.0	0.65	(ろ)	※(へ)
		Y		2.0	0.0	0.5	2.5	0.8	0.6	1.0	0.15		
	21	X	他柱	0.0	2.0	0.5	2.5	0.8	0.6	1.0	0.65	(ろ)	
		Y		2.0	0.0	1.0	1.0	0.5	0.6	1.0	-0.10		
	22	X	他柱	2.0	0.0	0.5	2.5	0.8	0.6	1.0	-0.60	(い)	(南)
c)	23	X	他柱	2.0	0.0	0.5	2.5	0.8	0.6	1.0	0.65	(ろ)	
	24	Y	他柱	2.0	0.0	1.0	1.0	0.5	0.6	1.0	-0.10	(い)	(南)
	25	Y	他柱	2.0	0.0	0.5	2.5	0.8	0.6	1.0	0.15	(ろ)	
	29	Y	他柱	0.0	2.0	0.5	2.5	0.8	0.6	1.0	0.15	(ろ)	※(北)
	30	Y	他柱	2.0	0.0	0.5	2.5	0.8	0.6	1.0	0.15	(ろ)	
	32	Y	他柱	2.0	0.0	0.5	2.5	0.8	0.6	1.0	0.15	(ろ)	
	33	X	出隅	0.0	2.0	0.5	2.5	0.8	0.4	1.0	1.60	(ほ)	無造り(柱)
		Y		0.0	2.0	0.5	2.5	0.8	0.4	1.0	1.60		
	34	X	他柱	2.0	0.0	0.5	2.5	0.8	0.6	1.0	0.15	(ろ)	
	35	X	他柱	0.0	2.0	0.5	2.5	0.8	0.6	1.0	0.15	(ろ)	
d)	36	X	他柱	2.0	0.0	1.0	1.0	0.5	0.6	1.0	-0.10	(い)	(南)
	37	X	他柱	2.0	0.0	0.5	2.5	0.8	0.6	1.0	0.15	(ろ)	※(北)
	38	X	他柱	0.0	2.0	0.5	2.5	0.8	0.6	1.0	0.15	(ろ)	※(北)
	39	X	出隅	0.0	2.0	0.5	2.5	0.8	0.4	1.0	1.60	(ほ)	※(北)
		Y		0.0	2.0	0.5	2.5	0.8	0.4	1.0	1.60		
	40	X	他柱	2.0	0.0	0.5	2.5	0.8	0.4	1.0	1.60		



・ホルムアルデヒドの発散による衛生上の支障がないようにするための構造

種類	機械換気設備（第3種換気）
換気回数	0.63回/h（下表による）
居室出入口の通気措置	ドアのアンダーカット1cm、ふすま、引戸、換気ガラリ
機械換気最終設置場所	使用（1階、2階）

■居室毎の機械換気設備※換気経路ではない扉戸、押入は対象外

室名	床面積 ㎡	平均天井高 h	気積 m³	必要有効 換気量(A) m³/h	換気種別	給気機による 給気量(A) m³/h	排気機による 排気量(B) m³/h	換気回数 n
1F 玄関	2.485	2.580	6.412	254.960×0.5	第3種換気設備 給気口及び 排気機		80	
1F ホール	5.300	2.400	12.720					
1F 廊下	4.304	2.400	10.330					
1F 階段	2.070	2.175	4.503					
1F 便所	1.820	2.400	4.368					
1F 台所	9.937	2.400	23.849					
1F 居間	16.562	2.400	39.749					
1F 和室・床の間	11.593	2.400	27.824		第3種換気設備 給気口及び 排気機		80	
2F 廊下	6.624	2.400	15.898					
2F 階段	4.140	2.400	9.936					
2F 便所	1.656	2.400	3.975					
2F 主寝室	16.562	2.400	39.749					
2F 洋室1	9.937	2.400	23.849					
2F 洋室2	13.249	2.400	31.798					
合計			254.960	127.480			160	0.63>0.5

■有効換気計算表

室名	建具記号	開口部名称 サッシサイズ	窓ガラスの面積 B	居室面積 S	有効換気面積 C=B/2	必要換気面積 D=S/20	換気判定 C>D
居間・食事室	AW1	引違い(南側) W1650/H2200	0.7×2.0×2=2.80	16.562	1.40	0.83	○K
和室	AW2	引違い(南側) W1650/H2000	0.7×1.8×2=2.52	11.593	1.26	0.58	○K
主寝室	AW3	引違い(南側) W1650/H2000	0.7×1.8×2=1.26	16.562	1.26	0.83	○K
洋室1	AW4	引違い(北側) W1650/H1100	0.7×1.0×2=1.40	9.937	0.70	0.50	○K
洋室2	AW4	引違い(南側) W1650/H1100	0.7×1.0×2=1.40	13.249	0.70	0.66	○K

■採光適合確認

室名	建具記号	開口部名称 サッシサイズ	直上頂部から 敷地境界 D	窓中心から 直上頂部 H	採光補正係数		窓ガラスの面積 B	有効採光面積 E=A×B	居室面積 S	必要採光面積 F=S/7	採光判定 E>F
					D/H×6-1.4(算定式)	A					
居間・食事室	AW1 2階軒先	引違い(南側) W1650/H2200	1.650	4.383	2階軒先 0.85	0.85	0.7×2.0×2=2.80	2.38	16.562	2.37	○K
	AW1 バルコニー	引違い(南側) W1650/H2200	1.450	1.500	バルコニー 4.39						
和室	AW2	引違い(南側) W1650/H2000	1.650	4.483	0.80	0.80	0.7×1.8×2=2.52	2.01	11.593	1.66	○K
主寝室	AW3	引違い(南側) W1650/H2000	1.650	0.875	9.91	3.00	0.7×0.9×2=1.26	3.78	16.562	2.37	○K
洋室1	AW4	引違い(北側) W1650/H1100	10.346	1.167	51.79	3.00	0.7×1.0×2=1.40	4.20	9.937	1.42	○K
洋室2	AW4	引違い(南側) W1650/H1100	1.650	1.167	7.08	3.00	0.7×1.0×2=1.40	4.20	13.249	1.89	○K

居間・食事室の窓AW1の直上にはバルコニーがありますので、バルコニーの頂部と2階軒先から敷地境界線までの水平距離（D）の両方について検討を行い、厳しい条件の方が採光補正係数（A）となります。採光補正係数の最大は、3.0ですので、「D/H×6-1.4」の値が3.0を超えた場合は、3.0が採光補正係数（A）となります。